

2017-19 JHF 教員、助教員検定を受検するためには

1 検定科目

教員、助教員の受検科目は同一で3種類、6項目です。
教員、助教員の合格基準が異なります。

① 学科検定問題（教員は集合受験 助教員は教員検定）

- ・ JHF 学科検定問題 助教員100問 教員250問
JHF 教本参照
- ・ 日本体育協会指導者養成テキスト学科問題 100問
日本体育協会指導者養成テキスト I、II 参照

② フライト実技検定

- ・ グランドハンドリング実技
NP過程 S時スラローム
教本、実技DVD参照
- ・ フライト実技
NP、P過程 練習生に見せる模範フライト実技
教本、実技DVD参照

③ 教習実技検定

- ・ 教習実技検定
学科のレクチャー実技、2課題の講義 教本参照
- ・ 無線誘導実技
B級レベル練習生のTOからLDまでの無線誘導
無線誘導の注意点 参照

2 受験勉強に必要な資料以下の3種類です。

- ① 教員、助教員のためのDVD他資料
 - ・ 教員、助教員に必要な知識
 - ・ 教員、助教員検定科目
- ② JHF 教本
- ③ JHF 実技DVD TO&LD編 フライト編（PGのみ）

助教員の検定の流れ

1 受験希望者は所属する都道府県連盟に申し込みを行う



2 都道府県連盟は助教員検定員または教員検定員を選定し依頼する



3 都道府県連盟に助教員検定員または教員検定員が在籍しない場合、都道府県連盟はJHFに助教員検定員または教員検定員の派遣依頼を行うことができる。



4 都道府県連盟は助教員検定会開催をJHFに申請



5 JHFはWEBに助教員検定会開催情報を掲載

他の都道府県の受験者も受験可能（ただし所属県連の承認が必要）



6 受験者確定 JHFは受験資料、体育協会テキスト（有料）を受験者に送付（受験資料DVDは更新講習会資料DVDと同一）



7 助教員検定員、教員検定員は助教員検定を実施

- ・ 実技検定（グラハン&フライト）
- ・ 教習実技検定（無線誘導実技&学科教習実技）
- ・ 学科検定

I JHF学科検定問題100問

II 日本体育協会指導者養成テキスト問題（テキスト持込み）（100問）



8 助教員検定員は合否判定を行いJHFに報告



10 JHFは合格者に助教員申請書を送付

一部合格者には一部合格証を送付（2年有効）

一部合格者は不合格科目を2年以内に再受験する



11 全科目合格者は所属する都道府県連盟の推薦を受けJHFに申請



12 JHFは合格者に助教員技能証を発行



不合格者は不合格科目について再試験を受けることができる。

ただし、再受験料は必要です。（各科目3000円）

合格まで指導を受ける場合は各スクールの規定に従ってください。

教員の検定の流れ

- 1 受験希望者は所属する都道府県連盟の推薦を受け J H F に申し込みを行う
↓ (受験料20000円)
- 2 J H F は受験者と調整を行い担当教員検定員を1名選任
↓
- 3 担当教員検定員は受験者と日程の調整を行う
↓
- 4 J H F は受験資料DVD、体育協会テキスト (有料) を受験者に送付
(受験資料DVDは更新講習会資料DVDと同一)
↓
- 5 **検定員は実技検定及び無線誘導実技を実施**
 - ・実技検定 (グラハン&フライト)
 - ・教習実技検定 (無線誘導実技)
↓
- 6 実技検定員は合否判定を行い J H F に報告
↓
- 7 **実技合格者の学科検定、教習実技は合同で毎年2月に行う。**
(スクール事業委員会が行う)
 - ・教習実技検定 (学科の解説実技)
 - ・学科検定
 - I J H F 学科検定問題 2 5 0 問
 - II 日本体育協会指導者養成テキスト問題 (テキスト持込み) (1 0 0 問)
↓
- 8 スクール事業委員会は合格者をJHF事務局に報告
- 9 J H F は合格者に教員申請書を送付
一部合格者には一部合格証を送付 (2年有効)
一部合格者は不合格科目を2年以内に再受験する
↓
- 8 合格者は所属する都道府県連盟の推薦を受け J H F に申請
↓
- 9 J H F は合格者に教員技能証を発行

不合格者は不合格科目について再試験を受けることが出来る。

ただし、再受験料は必要です。(各科目3000円)

合格まで指導を受ける場合は各スクールの規定に従ってください。